

2023 年度第 1 回 Jミルク事業推進における事業協力者関連事業

| 事業 No | 実施項目 | 事業目的 | 実施内容 | 実施期間 | 主なターゲット | 訴求する主な価値 | 企画にあたっての留意点 | 予算の上限 (千円・税込) |
|-------|------------|--|---|---------|--------------------|------------------------------|--|------------------|
| 1 | 食生活動向調査の実施 | 最近の生活者における牛乳・乳製品に対する意識や消費実態を明らかにすると共に業界で実施する普及活動の効果測定の指標とする。 | ①インターネットを用いて、約 10,000 サンプルの生活者に対して意識調査を行う。この調査の設計、質問票の作成、実査、集計・分析、報告書の作成(対外発表するための修正を含む)を実施する。 調査項目については、2022 年度に実施した「牛乳乳製品に関する食生活動向調査 2022」を参考にすること。 https://www.j-milk.jp/report/trends/index.html 参照 ②新規事案の発生時に、インターネットを用いて、価値意識や行動意識の変化に関する約 500 人程度サンプルの調査を行う。調査には、①同様、設計、質問票の作成、実査、集計・分析、報告書の作成を含む。なお、新規事案に対する調査は 2023 年度中に①の期間を除き、2 回程度実施する。 | 5 月～3 月 | 生活者 | 現在の生活者の牛乳・乳製品に対する意識や価値を明確にする | 経年変化が確認でき、かつ今後の需要創出に向けた基礎資料とする。 ②については、事案発生時に企画対応できるようにすること。 予算については、①～②毎に積算を明示すること。 | 17,500 |
| 2 | 牛乳類小売情報の購入 | 牛乳類や植物性ミルク類に関する販売実態を把握検討し、Jミルク需給見通しでの活用、ならびに会員等への有用情報としてJミルクホームページで情報提供する。 | 全国を単位とした牛乳類と植物性ミルク類の販売状況に関するサンプル調査データの購入 ①対象 全国の量販店、コンビニエンスストア等 ②調査項目 a)牛乳類、発酵乳・バター類の販売金額、販売数量、販売単価 b)植物性ミルク類の販売金額、販売数量 ③報告サイクル a)月次および週次で取りまとめたデータ b)4 半期毎で取りまとめたデータ ④サンプル数 全国 1,800 サンプル程度 ⑤サンプルの割り付け 指定生乳生産者団体の区域による区分(9 区分) ⑥サンプルの抽出 無作為1段階以上とする。 ⑦データは 12 カ月を購入(2023 年 3 月～2024 年 2 月分) 3 月分のデータについては、事業協力者決定後、Jミルクに提供するものとする。 ⑧情報提供方法はJミルクホームページを参照すること。 牛乳類の販売速報 https://www.j-milk.jp/gyokai/sri/berohe0000002rwo.html 需給短信 https://www.j-milk.jp/gyokai/jukyuu/index.html ※牛乳類とは、「牛乳」「成分調整牛乳」「加工乳」「白物乳飲料」とする。 ※植物性ミルク類とは、「豆乳」、「アーモンドミルク」、「オーツミルク」とする。 | 4 月～3 月 | 全国の量販店、コンビニエンスストア等 | 全国小売店パネル調査等 | 全国の代表性と速報性を兼ねた調査データであること。 | 29,000 |

| | | | | | | | | |
|---|--------------------------|---|--|-------|----------------------|---|--|-------|
| 3 | 研究集会の開催・運営 | 既存の研究成果を活用した、コングレスを運営・開催し、エビデンスを関係者に広く周知する。 | <p>実施日は 2023 年 11 月 12 日(日)、開催場所は伊藤謝恩ホール、開催形態は、集会型及び後日オンデマンドを基本とする。委託する運営業務は、準備、当日、オンデマンド配信にかかるすべての業務を指す。安全かつ、快適に参加できる工夫を行うこと。なお、参加者規模は 250 名で見積もること。</p> <p>【見積もりに含めるもの】 ((注)実際の発注とは異なる場合があります)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催に必要な準備の一切(運営マニュアル、台本、パネルセッション用のパネル最大 37 題の印刷・掲示及び、当日配布する発表(口頭発表 8 題+パネル発表 37 題)要旨による抄録製本・印刷(250 部)等の事前事務を含む) ・必要に応じて(外注含む)会場造作や建て込み作業員、受付等の人員手配、その他運営スタッフ ・ケータリング(昼食 75 名程度、情報交換会 150 名程度)【予算外可:別見積】 <p>【見積りに含めなくてよいもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場借用料(会場のみ、備品はここに含まない) ・登壇者旅費・謝金 | 4月～7月 | 業界関係者、研究者、学校関係者、栄養士等 | <ul style="list-style-type: none"> ・参加のしやすさや快適さを図り、参加者を最大化する工夫 ・参加者交流を行いやすくする工夫。 ・エビデンス情報を的確に伝達する運営。 | <ul style="list-style-type: none"> ・交流を目的とした安全かつ快適な環境設定(設計)等で、参加のしやすさを十分に担保すること。 ・オンデマンド配信について、交流の風景などを交え、次回は会場参加したいと思わせる動画の工夫をとること。 ・見積時の設定とは変更になる場合があるので、柔軟な対応が可能であること。 | 5,000 |
| 4 | 牛乳乳製品の最新研究情報レポート制作 | 牛乳乳製品の価値向上で活用できる基礎情報として、国内外の学会誌や政府研究機関等で発表された最新の研究情報の要約資料を作成。 | <p>①牛乳乳製品の価値向上に資する海外の科学的な研究成果の最新情報をもとに、収集・翻訳・要約を行う。およそ 30 論文程度を収集し、そのうち重要な 20 論文程度の翻訳を含む要約を行う。</p> <p>②①で収集した情報から、特にエビデンスレベルの高い論文について、業界関係者等に情報提供できるよう、A4 で 2 頁ほどの「最新研究レポート」として電子データ 12 報(1 報/月)程度にまとめるものとする。</p> <p>①②の論文の収集するテーマや入手、翻訳や要約については J ミルク事業担当と相談しながら実施する。</p> <p>企画にあたってはこれまでの実績を参考にすること。</p> <p>https://www.j-milk.jp/report/study/acad.research/index.html 参照</p> | 4月～3月 | 業界関係者、医療関係者、栄養士 | 収集論文の研究結果の意味や価値を明確にする | 論文で書かれている内容について、文章及び図表、視覚効果等を用いて、わかりやすく表現すること。 | 4,800 |
| 5 | メディア・関係者向け栄養価値等広報資料の作成 | 牛乳乳製品の価値情報をメディアに対し広報するため資料を作成し広報を行う | <p>メディア向けに牛乳・乳製品の科学的エビデンスや学校給食用牛乳の役割などの価値情報をメディアに分かりやすく伝え、牛乳・乳製品を新たに食事に取り入れることなどの記事掲載を促進するための資料を作成する。</p> <p>なお、食生活課題に対して牛乳乳製品が貢献するものとし、具体的な生活場面での利用方法などの提案も盛り込んだ資料とする。作成した資料は関係メディアに配信するほか、J ミルクウェブサイトで公開する。</p> <p>作成する資料は、冊子体で年間 2 回(各 20 ページ想定)、制作する。</p> <p>企画にあたってはこれまでの実績を参考にすること。</p> <p>https://www.j-milk.jp/report/study/factbook_index.html ファクトブック参照</p> | 4月～3月 | メディア・酪農乳業関係者 | 消費者が関心ある話題を踏まえ、牛乳・乳製品のエビデンスを有効活用したメディア向け発信 | タイムリーなテーマの提案・設定 | 5,000 |
| 6 | 世界の酪農乳業のトレンドを広報するための資料制作 | 国際 Dairy レポートの制作発送 | <p>世界の日本に先駆けるトレンド(例えば持続可能性、植物性代替食品、フードテック)の海外の乳にかかわる生産、処理、販売、商品の選択傾向、社会動向や酪農乳業等の国際組織の活動状況をリサーチ・分析、翻訳し、世界のトレンドを取り入れた新たな需要に応える新商品開発や販売戦略などに役立つ資料として酪農乳業関係者に提供する資料を制作する。(年 2 回)</p> <p>なお事業は①情報の収集②翻訳③データ制作④印刷・配布(全国 2200 か所)で構成し、それぞれ単独での応募も可能とする。</p> <p>https://www.j-milk.jp/report/international/index.html 国際 Dairy レポート参照</p> | 4月～3月 | 酪農乳業関係者 | 世界の動向を的確にリサーチする | 国内酪農乳業関係者に役立つ最新のわかりやすい海外情報を提供する | 7,000 |

| | | | | | | | | |
|---|------------------|--|--|-------|-------------------------|---|--|--------|
| 7 | 講演採録(レポート)の作成 | Jミルクが行う、セミナー等の講演内容について、読みやすいレポートを作成し、講演内容を広く周知する | <p>新たな牛乳乳製品の価値情報を知らせる機会の創出として、Jミルクが実施したセミナー等の講演内容について、講演採録を作成する。制作にあたっては、セミナー等の直接取材を想定すること。</p> <p>過去の例 https://www.j-milk.jp/report/media/symposium202206.html 参照</p> | 4月～3月 | 業界関係者・栄養関係者、学校関係者、メディア等 | 専門外のターゲットが講演内容を理解できる資料を作成し、エビデンスを広く広報する | 内容的にも視覚的にもわかりやすい工夫で、専門外のターゲットにも訴求できる資料とすること。 | 1,000 |
| 8 | 関係者向け酪農乳業の最新情報提供 | 酪農乳業や牛乳乳製品に関する価値情報をわかりやすく発信し、酪農乳業関係者等へ共有する | <p>酪農乳業関係者等の取り組みの参考となる事例を取材、紹介するとともに、生乳需給のバランスや牛乳乳製品の健康栄養、食育などの情報をわかりやすく解説し、生活者等向け事業に活用しやすいコンテンツとして開発。</p> <p>年間2号発行・印刷(2,600部)・配布(全国2,200箇所)</p> <p>過去の例 Jミルクレポート https://www.j-milk.jp/about/report/index.html</p> | 4月～3月 | 業界関係者・研究者等 | 繰り返し読んだり、保存しておきたい工夫があること。 | 内容の確かさ及びビジュアルの見やすさ等に配慮し制作できること。年間2号について、季節や酪農乳業の業界課題も意識した企画/取材/提案を行うこと。また、各企画ページはリーフレット化などの活用の可能性も念頭に制作する。 | 12,240 |